

栃尾地域振興課題

1. 課題・問題

	課 題
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地の活性化を考える。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人口の減少と高齢化が進む中で、寝たきり老人を出さないため、に考えられたのが「集落協定」である。 集落維持のため、地域づくり研修や植物の植栽などを行っている
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集落維持のためには、集落同士の連携の機会や連携組織が重要である。 一つの大きな組織をつくって全体をまとめていく必要がある。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若者が住みたくなる地域の実現を考える。 住宅問題、医療機関の緊急・夜間の対応などの問題克服が課題。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人口減、世帯減が地域の一番の問題。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多世代にわたる就労の場づくりが必要である。 テーマを1つまたは2つに絞って議論していく。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多世代のバランスの取れたまちづくりが大切。若い人の雇用が創出できれば定住が図れる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 結婚の奨励による少子化対策を考える。特に男性の結婚を後押しする。 独身男性を対象とした料理教室の開催、出会いの場等の機会創出。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域におけるリーダー養成や研修、人材の発掘や育成等を、地域委員会がバックアップして行う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人材の育成が必要である。人材育成が産業の活性化、地域の発展につながる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域委員会で活性化をテーマにイベントを企画・実施する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域にイベントが多くあるが、企画は同じ人たちばかり。企画に参加してみたいと思う人を巻き込むことが重要である。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベント創りを通して、それぞれ得意分野の違った人たちが連携できる機会づくりを行う。また、この際、使える施設の活用も図る。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今ある施設を活用することが重要である。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今あるもの(ソフト・ハード)を、どう生かしていくかを考えるのが地域委員会の役割。いろいろな問題を出して解決していくことが重要である。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 秋葉公園の「謙信の里づくり事業(工事)」終了後の活用法を考える。 上手く生かして、商工業の発展につなげたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの遊び場がない(少ない)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化財等を生かして観光につなげる。

2. 議論の方法等

方 法 等	
1	・地域委員と関係団体による活性化の検討。
2	・活性化の問題・課題は多々あるので、関連している問題をまとめて解決していく必要がある。個々の対応ばかりでは効果が薄い。 回数を重ねて意見を出し合っていくことが重要である。
3	・地域の平均点を上げるのか、特徴ある地域づくりを目指すか選択することが重要である。
4	・より広い住民参加により活性化を図っていく。
5	・いろいろな組織が意見を出していくことが大切である。